

7.2 故障かなと思ったら

FDIP6200が正しく作動しないときには、次のような処置を行ってください。
それでも正しく動作しないときには、サービスマンにお問い合わせください。

現 象	原因と処置
電源スイッチをONにしても作動しない。	電源コードが正しく接続されているかどうかチェックしてください。
スクリーンに画像が投影されない。 (このとき、表示パネルは「コピーミスウ」などが正しく表示されている)	- 投影ランプが消灯しています。 → ランプキーを押して点灯させます。 - ランプボックスが正しく取り付けられていません。 → 正しく差し込んでください。 - 投影ランプが切れています。 → 投影ランプを交換してください。
スクリーンが暗い。	- スクリーンに直射光または室内光が反射しています。 → カーテンで遮光し、天井灯を消してください。 - 投影レンズに適した明るさに調整されていません。 → 拡張機能の照度切換モードで明るさを切り替えてください。 - レンズホルダーが正しく押し込まれていません。 → 止まるまで押し込んでレンズカバーを閉じてください。
ピントが合わない	- レンズホルダーが正しく押し込まれていません。 → 止まるまで押し込んでレンズカバーを閉じてください。 - 投影レンズが正しく取り付けられていません。 → 正しく取り付けてください。 - フィルムユニットの押えガラスに異物が混入しています。 → 押えガラスを点検し清掃してください。 - 撮影された画像のピントが合っていません。 → ピントの合ったフィルムを使用してください。 - 押えガラスやフィルムのキズ、ゴミ、汚れ等にフォーカスが合っています。 → マニュアルフォーカスキーで合わせてください。 - フィルムの濃度が著しく高い、または低い。 → マニュアルフォーカスキーで合わせてください。 - フィルムの画線がきわめて細い、または画像が細かい。 → マニュアルフォーカスキーで合わせてください。

7.2 故障かなと思ったら

現 象	原因と処置
コピーの濃度が濃い。	コピー濃度の設定が濃くなっています。 → 濃度・倍率キーを押して、「コピー濃度」を選び、移動/+-キー (-) で表示されている数字を下げてください。
コピーの濃度が薄い。	コピー濃度の設定が薄くなっています。 → 濃度・倍率キーを押して、「コピー濃度」を選び、移動/+-キー (+) で表示されている数字を上げてください。
コピーの濃度にムラがある。	- スクリーンに直射光または室内光が反射しています。 → カーテンで遮光し、天井灯を消してください。 - 投影レンズに適した明るさに調整されていません。 → 拡張機能の照度切換モードで明るさを切り替えてください。 - レンズホルダーが正しく押し込まれていません。 → 止まるまで押し込んでレンズカバーを閉じてください。 - 投影ランプが指紋などで汚れています。 → ランプを点検し、汚れているときは、ランプが冷えてから清掃してください。 - 投影ランプが正しく取り付けられていません。 → ランプを点検し、冷えてから指紋をつけないよう正しく取り付けてください。 - 投影レンズや集光レンズに指紋、ほこり、汚れ等が付着しています。 → ブロワーブラシや、メガネを拭くクリーナークロス等でキズをつけないように注意しながら清掃してください。
コピーの画質がよくない。 ・コピー用紙の画像をコスルと画像が消える。 ・白紙がでる。 ・コピーに白線がでる。 ・コピーに黒線がでる。 ・コピー全体に黒い部分が濃い。 ・コピー全体に黒い部分が薄い。	LP10の使い方の「7.こんなときには」を参照して処置してください。